

第 98 回日本消化器内視鏡学会甲信越支部例会の若手優秀演題

若手医師に対する表彰（研修医・専攻医セッションより 3 題選出）

選出方法（研修医 1 名，専攻医 1 名，成績で 1 名、本部推薦は上位成績から 2 名）

04-内-研 内視鏡的開窓術後に腸重積を来したが、内視鏡的に整復・切除が可能であった結腸脂肪腫の 1 例 新潟市民病院 消化器病内科 高野颯太 先生（221 点）

07-内-専 保存的加療で改善し得た主膵管損傷を伴う外傷性膵損傷の 1 例

信州大学医学部附属病院消化器内科 鶴飼 隆 先生（233 点）

05-内-専 経口ダブルバルーン内視鏡にて確定診断に至った肺癌小腸転移の一例

長岡赤十字病院消化器内科 加賀田彩乃 先生（220 点）

第 97 回支部例会の優秀演題（一般演題より当番会長が 2 題選出）

演題番号：2 Barrett 食道腺癌の一例 相澤病院 消化器内科 今井淳葵 先生

演題番号：25 高度の汎血球減少併存下に膵管炎および胆管炎を合併したアルコール性慢性膵炎の一例 信州大学 消化器内科 近藤翔平 先生

優秀演題に選出されました先生には、表彰状および奨励金（5 万円）を送り、表彰に代えさせていただきます。